平成28年(2016)7月吉日発行

# 原かずたか後援会報

編集/発行：原かずたか後援会
http://hara-kazutaka.jp　info@hara-kazutaka.jp
第4号

## 群馬県議会議員

# 本気の一般質問！
# 二期目も全力で!!
# 原かずたか

## 厚生文化常任委員会委員長を拝命!!

## 活力ある伊勢崎から群馬を元気に！

### 国道50号バイパス早期完成要望

県議会議員団と共に訪問の様子　　自民党・谷垣禎一幹事長と本人

前橋、伊勢崎、みどり、桐生選出の県議会議員と国会議員の先生方と共に関係省庁･谷垣禎一幹事長を訪ね、国道50号バイパス(前橋笠懸道路)の早期完成を要望しました。この整備によって経済活動の活性化はもちろん、交通の円滑化により渋滞緩和や事故の減少が見込まれます。一刻も早い完成に向け、今後も精一杯尽力して参ります。

### 参議院議員選挙に向けて

中曽根議員と本人。 ガッチリと手を取り合って群馬のために尽くして参ります!!

平成28年7月に投開票される参議院議員選挙では、群馬選挙区から現職の中曽根 弘文参議院議員が出馬します。中曽根議員は元外務大臣、元文部大臣･科学技術長官と要職を務め、安倍政権を支えるご活躍をされる一方、現在も自民党群馬県連会長に就かれる等、群馬県政においても多大な貢献をされています。

豊富な経験に加え内外各界の要人との太いパイプを有し、今後益々の活躍が期待されています。自民党の公認候補者であります中曽根議員に対しまして、皆様の厚いご支援を賜ります様心よりお願い申し上げます。

## 原かずたか後援会 会員募集中!!

原かずたかと共に明日の群馬を真剣に考え、本気で行動して頂ける会員を募集しております。
入会ご希望の方は、右記の事務所までご連絡下さい。

**境事務所（原病院）**
〒370-0127 伊勢崎市境上武士898-1
TEL.0270-74-0633　FAX.0270-74-1988

**寿町事務所**
〒372-0052 伊勢崎市寿町155-3
TEL.0270-30-1101　FAX.0270-30-1103

# 原かずたかの県政活動報告

**●現所属委員会●**

●厚生文化常任委員会 **委員長**（委員長を拝命致しました。精一杯努めて参ります!）
●地球温暖化・電力システム改革特別委員会 委員

## 平成二十七年第三回定例会一般質問 要旨

### 『やる。本気！』で邁進中!!

群馬県議会平成二十七年第三回定例会において、一般質問を行いました。県議会議員二期目として最初の一般質問になった本会議においても『本気』の一般質問を展開。内容も多岐にわたり『ものづくり産業』や『都市計画』について等、地域経済や人々の暮らしに密接する質問から、世界遺産『田島弥平旧宅』の現状や『農業問題』、『道路整備問題』等の地元問題まで幅広く取り上げました。また、議員活動において特に重点を置いている医療・介護問題においては、新しい取り組みである『地域包括ケア』について触れ、地域の実情において市町村が独自設計出来る現状が地域のサービス差を生むのではないか等、細かい部分にも質問を行いました。

また、二期目の県議会議員活動も二年目に入り平成二十八年度は**厚生文化常任委員会 委員長**の職を拝命し、さらなる重責を担いました。群馬県はもちろん、伊勢崎市発展のために精一杯努めて参ります。今後とも皆様の厚いご指導、ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

#### ■ものづくり人材の確保について

（1）ものづくり産業が人材確保・育成難に直面している現状について
（2）ものづくり改善インストラクタースクールの現状と支援策について

#### ■物流業の振興について

（1）さらなる経済発展のためのものづくり産業について
（2）伊勢崎・太田地区の高機能・多機能化に伴う、災害にも強い物流拠点の整備について

#### ■都市計画について

（1）市街化調整区域と非線引き都市計画区域における、地域格差について
（2）県内四市が合併後の非線引き地域の線引きを見送った背景について

#### ■小中高等学校の統廃合について

（1）学校の統廃合が増える現状や、地域への影響について
（2）廃校後の施設の利活用について

#### ■地元問題について

（1）田島弥平旧宅、富岡製糸場と絹産業遺産群の現状や、地元道路の改良・整備工事について
（2）地元の道路整備等について

#### ■農業問題について

（1）意欲ある若手農業者に対する支援について
（2）園芸施設共済の加入促進について

#### ■地域包括ケアについて

（1）介護予防・日常生活支援総合事業のスタートに伴う、取り組み状況と今後の見通しについて
（2）事業主体を市町村が独自に設計できることから、サービスの地域差が生じる懸念について

### 総合計画に関する特別委員会【県外調査：石川県】

石川県小松市の『こまつの杜』はコマツ㈱小松製作所が地域社会と一緒に子ども達を育む場所として平成23年5月にオープン。利用者は年間約3万人にのぼり、飲食・土産物購入等、地域活性化に大きく貢献し、『地方創生のモデルケース』と評価されています。

また、金沢市にある石川県庁も訪ね、県内の人口減少の克服、結婚・出産・子育て支援等地方版の総合戦略である『いしかわ創生総合戦略』の策定や、地方人口ビジョンである『いしかわ創生人口ビジョン』の策定も並行して進める等、精力的に対策を行っています。これらの取り組みを参考にし、今後の本県の地方創生に生かして参ります。

本人右から３番目

本人前列１番右

### 環境農林常任委員会【県外調査：和歌山県・奈良県・大阪府】

和歌山県では、『中田食品株式会社』を訪ねました。中田食品株式会社では開業から一貫して地域に根ざし、うめ食品の加工品の製造を続け、中国進出を果たし、二次・三次産業の面で成功を収める等、本県の農業・農村振興対策において大変参考になるモデルケースでした。

奈良県では最高級の建築材・吉野杉を生産する吉野林業の地として有名な川上村を調査。室町時代から続いていると言われる川上村の植林は、時代に伴う生活環境の変化や、木材の需要減少に伴う林業の低迷期に入っても、『林業総合センター』の設置や川上村の林業関係4団体と『川上村林業再生準備室』を立ち上げる等、独自の対策や産材の一貫供給体制の構築に積極的に取り組んでいます。

また、大阪府では堺市の『堺太陽光発電所』と『株式会社 DINS 堺 バイオエタノール事業所』を訪ね、『電源ぐんまプロジェクト』を推進する本県の環境対策の参考になりました。これらの調査内容を今後の本県の環境政策に活かして参ります。

説明を受ける様子

### 決算特別委員会環境農林分科会 尾瀬国立公園【県内調査:群馬県尾瀬】

「特別天然記念物」に指定され、本州最大の湿原を持つ高山植物の宝庫として有名な尾瀬国立公園は、学術的価値の高さから、保存が厳しく義務づけられ現状を変更してはいけないこととなっています。その一方、近年、シカによる植生の荒廃が尾瀬全体で進んでおり、このため県は「群馬県尾瀬地域生物多様性協議会」を設立。ニホンジカによる植生被害に対してくくりわな・銃などで対策を推進するとともに、食害を受けた尾瀬ヶ原内の植生の回復の観察も行っています。

尾瀬の保護・活用という環境対策の観点から、「尾瀬学校」及びニホンジカ対策等の現状取組について調査しました。

尾瀬国立公園に関する概要説明（本人１番右）

### 環境農林常任委員会 川場田園プラザ・昭和村【県内調査:群馬県尾瀬・昭和村】

「川場田園プラザ」は、年間120万人が来訪者とリピート率7割を誇る、全国で6箇所しか存在しない「全国モデル道の駅」です。プラザ内には、村内で生産された農畜産物を販売する「ファーマーズマーケット」をはじめ、牛乳やヨーグルト、ソーセージやハムなどを現場で加工している工房も多数存在し、地域で生産・加工・流通販売を一元的に行う6次産業化の実践的な施設でもあります。

昭和村は、準高冷地の特性を活かしたコンニャクやレタスなどの高原野菜を中心に幅広い生産活動を行っており、中でもこんにゃく芋の生産量は日本一を誇るなど、農業立村という特性を活かした「農村産業」の確立を図っています。また、優れた景観的個性を活かし、平成21年10月に「日本で最も美しい村」連合に加盟し、「自主自立の村」、「元気な村」としての村づくりも推進。農村振興対策の参考になりました。

昭和村役場前にて（本人中央）

### 環境農林常任委員会【県内調査：群馬県吾妻・中之条地域】

農業・農村振興対策、農業災害対策の参考として吾妻・中之条地域を調査しました。吾妻地域の農業は、耕地が標高300mから1,400mの広範囲に分布し、立地条件を活かした多様な生産活動が行われ、特に嬬恋村の夏秋キャベツは、全国一の生産量を誇り、この地域の農業産出額は県内の約14%を占めています。また中之条町岩本上組地区は、従来からイノシシ被害が発生していましたが、平成10年頃からはサルによる被害も増加し、人慣れした個体は貯蔵庫や宅地まで侵入し、農業に大きな影響を与えていました。このため、平成22年度に小規模土地改良事業により集落を囲む電気柵を設置し、サル等の侵入経路の調査、餌となる放任果樹等の伐採等を集落ぐるみで進め、電気柵は管理組合を通じて全戸が維持費を拠出しています。集落ぐるみの取組を継続的・効果的に行っている結果、有害鳥獣の出没・被害ともに大幅に減少しています。

中之条合同庁舎前にて（本人中央）